

令和7年6月定例市議会提出案件について

補正予算関係

一般会計・特別会計 補正予算総額 1,682,890千円
【債務負担行為 86,845千円】

主な内容

(1) 物価高騰対策を拡充します

120,063千円【商工振興課】

物価高騰等の影響を受けた生活者や事業者への支援を目的とした、プレミアム率30%のプレミアム付商品券について、国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増額に伴い、購入口数の上限を1人あたり3口までを4口までに拡充します

(2) 下水道管路の特別重点調査を実施します

88,494千円【下水道管理課】

埼玉県八潮市における道路陥没事故と同様の事故を未然に防ぎ、住民の安心・安全が得られるよう、下水道管路の特別重点調査を実施します。

(3) インフラメンテナンスにおける包括的民間委託の導入を検討します

12,080千円【道路管理課】

道路をはじめとしたインフラメンテナンスについて、SAR衛星やAI技術等を活用した効率的な包括的民間委託の導入可能性を調査します。

(4) 北ぶらくり丁商店街を歩きたくなる道路空間に整備します

23,560千円【都市再生課】

ウォーカブルなまちなかを実現するため、商店街活性化を目指し主体的に活動を続け、アーケードを撤去することを決めた北ぶらくり丁商店街において、居心地が良く歩きたくなる道路空間を整備するにあたり、ワークショップや社会実験から出た商店街等の意見も取り入れた道路詳細設計を実施します。

物価高騰対策を拡充します

【事業費】 120,063千円

- 物価高騰等の影響を受けた生活者や事業者への支援を目的とした、プレミアム率30%のプレミアム付商品券を販売します。
- 国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増額により、予算を増額し購入口数の上限を1人あたり3口までを4口までに拡充する

(プレミアム付商品券について)

仕 様	1口5,000円が6,500円分に！(プレミアム率30%) (1人あたり4口2万円の購入で26,000円分利用可能！)
申込期間	1回目募集 令和7年6月30日(月)～7月9日(水) (当初発行の25万口分) 2回目募集 調整中(追加発行の7万8000口分)
購入期間	1回目募集 令和7年7月28日(月)～8月6日(水) 2回目募集 調整中(追加発行の7万8000口分)
利用期間	令和7年7月28日(月)～10月31日(金)
対象者	申し込み時点で和歌山市内に居住している方(申込多数の場合は抽選)
発行口数	当初の発行定数250,000口に78,000口を追加し328,000口 を発行(うちデジタル商品券70%、紙商品券30%)
購入上限	<u>1人あたり4口までに変更</u>

(予算額)

569,444千円 (当初予算額)

+ 120,063千円 (補正予算額)

689,507千円 (総事業費)

下水道管路の特別重点調査を実施します

【事業費】 88,494千円

【事業概要】

埼玉県八潮市における道路陥没事故と同様の事故を未然に防ぎ、住民の安心安全が得られるよう、下水道管路の特別重点調査を実施します。

【調査対象】

（国）特別重点調査

重点調査 L = 15.5 km

- 設置後 30 年以上経過した口径2.0m以上の下水道管路

優先調査 L=15.5kmのうち L = 2.6km

- 重点調査のうち、腐食のしやすい箇所等については優先的に調査を実施

（市）単独調査

単独調査 L=1.2km

- 口径2.0m未満で腐食のしやすい箇所及び陥没履歴があり交通への影響が大きい箇所の下水道管路



潜行目視調査



ドローンによる調査

インフラメンテナンス包括的民間委託事業

インフラメンテナンスにおける包括的民間委託の導入を検討します

【事業概要】

【事業費】 12,080千円

道路をはじめとしたインフラメンテナンスについて、SAR衛星やAI技術等を活用した効率的な包括的民間委託の導入可能性を調査します。

【目的】

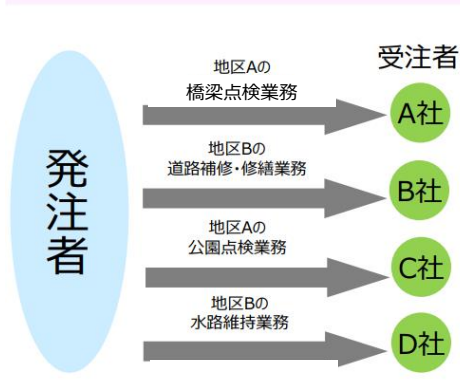
安心、安全で持続可能な公共インフラの維持管理および市民サービスの向上を目指す。



＜包括化のイメージ＞

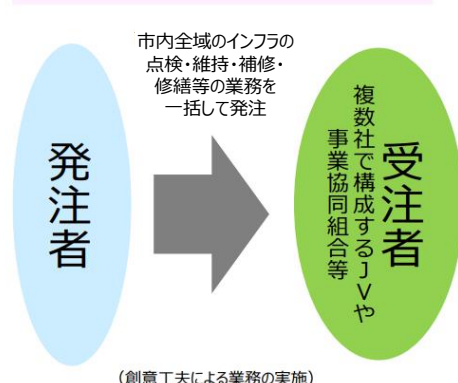
【従来の発注方式例】

個別のインフラ施設について地区・業務ごとに業務を発注し、それぞれの業務を個別の業者が受注



【包括的民間委託の発注方式例】

複数の業務やエリア、分野を包括化し、一つの業務でまとめて発注し、JV等が受注



(創意工夫による業務の実施)

地方道整備事業（市道北ぶらくり丁線設計業務）

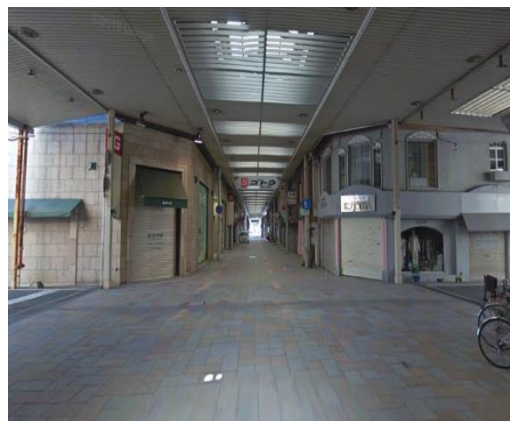
北ぶらくり丁商店街を歩きたくなる道路空間に整備します

【事業費】 23,560千円

【事業概要】

ウォーカブルなまちなかを実現するため、商店街活性化を目指し主体的に活動続け、アーケードを撤去することを決めた北ぶらくり丁商店街において、居心地が良く歩きたくなる道路空間を整備するにあたり、ワークショップや社会実験から出た商店街等の意見も取り入れた道路詳細設計を実施

道路整備後の目指すイメージ



現在の北ぶらくり丁商店街



R5 北ぶらくり丁商店街での社会実験の様子



出典：ふくやま本通り商店街さんぽ/福山本通商店街振興組合